



ケロちゃん通信 第97号 2023年7月



あたごこどもクリニック

940-0038 長岡市琴平1丁目2-1 電話番号 0258-36-5810
http://www.nagaoka-iryuu-seikyuu.jp/

☆ 梅雨入り前から湿度も高く、じめじめした日が続いています。外来では、喘息系の咳のお子さんや、コロナ以外の、いわゆるかぜのお子さんが多く受診しています。溶連菌や夏風邪のヘルパンギーナも増えてきています。コロナ後、様々な感染症が増えています。発熱期間が長く、検査しても何も陽性にならず、ご家族にも心配をかけるような感染症が多い印象です。コロナ期間中の感染予防で本来罹るはずの感染症に罹らず、免疫力が低下しているためなのではないでしょうか。

☆ 麻疹の流行も心配されています。予防接種で予防できる病気には積極的に接種をしましょう。

☆ 5月から6月にかけて、スタッフの体調不良や諸事情で、外来診療体制が整わない日が続きました。やむを得ず、予約数を減らして対応させていただいた日もありました。皆様にはご迷惑をおかけし申し訳ございませんでした。

☆ 7月1日は、当院の誕生日です。開院して8年間、皆様のおかげでなんとかやってこられました。山あり谷ありでしたが、至らなかった点はなかったのか問い続ける日々でした。7月1日から9年目に入りますが、これからも地域の子供たちのためにがんばりたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

★7月の診療予定★



7月22日 土曜午後外来
本間医師 7日午前・午後 21日午前 28日午前・午後

5日(水): 22日の代休で休診とさせていただきます。
26日(水)、27日(木)午前: 休診とさせていただきます。
27日午後は井埜医師、28日は本間医師の代診になります。

診療案内

・感染予防のため、発熱、かぜなどの急性疾患を主に診る
一般外来と慢性疾患(感染性のない疾患や定期処方など)
を診る慢性外来の診療時間を分けています。

時間a	月	火	水	木	金	土
8:30	一般外来 (急性疾患)					10:30~
11:00		予防接種 健診 (1歳未満)			予防接種 (1歳以上) 慢性 外来	
11:45						
12:00						
13:30	発達外来					
14:00	予防接種 健診 (1歳未満)					
15:00		コロナ専用 (6M-4歳)		一般外来 (急性疾患)	コロナ専用 (5-11歳)	
15:30						
17:30						



・一般診察枠内にも予防接種枠がありますので、ご利用下さい。
・スマイリーでは、急性疾患は「一般外来」から、慢性疾患・定期処方等は「慢性外来」からご予約下さい。
・もちろん、急を要するような場合にはすぐに ご連絡下さい。
詳しくはホームページのお知らせをご覧ください。

知能テストについて 3

・結果の解釈について

人が行う検査ですので、心理士の技術、本人のやる気や集中力にも結果は左右され、検査間隔が短い場合には前回のテストの問題を覚えている可能性も考慮しなければなりません。1回検査したからと言って絶対的なものではなく、ある傾向を見る程度の解釈でよいのではないかと思います。心理検査の目的は単に数字を出すことではなく、その人がよりよい生活を送れるために必要な指導や援助の在り方を考える情報を得ることです。

・一般的に施行されているWISC-IVの説明をしたいと思います。WISCは最新版はVですが、まだIVのほうが一般的だと思いますので、IVについて説明します。WISCでわかるのは認知面での症状であり、医学的診断名ではありません。Aのプロフィールでは自閉スペクトラム症、Bのプロフィールでは注意欠如多動症という診断はできませんが、共通した傾向がみられることはあります。

・個人間差、個人内差という2つの視点からの解釈ができます。個人間差は、同年齢集団の平均から、集団内の個人的な位置を知ることができ、パーセンタイルで示されます。50パーセンタイルは、100人の集団の中では下から50番目であるということを示します。個人内差は指標得点のばらつきが有意に大きいかで判定されます。

・合成得点の解釈

合成得点とは複数の評価点を合成して算出した標準得点です。

☆全検査IQ(FSIQ)：全体的な知的能力の発達水準を示します。その他の指標得点と大きな差がある場合には解釈は慎重にすべきです。知的能力障害（精神遅滞）の評価ができます。WISCではIQ69以下：非常に低い、70-79：低い（境界域）、80-89：平均の下、90-109：平均 というように記述します。

知的能力障害という診断は、単に知能指数のみでなく適応能力も考慮した上で判断します。IQが70未満でも社会的適応力がよければ、知的能力障害という分類名は適切ではありません。DSMの診断基準にも明記されています。

☆言語理解指標 (VCI)：言葉の理解（読む、聞く）、表現（話す、書く）、言葉の概念をとらえ言葉を使って推論する能力を測ります。

☆知覚推理指標 (PRI)：非言語的な情報をもとに推論する能力、新奇な情報に基づく課題処理能力、視覚-運動協調、空間認知力を測ります。視覚情報の処理、ルールの発見、見通しを立てる、分類やパターンの理解、地図の読み取り、数学的思考の弱さなどの評価ができます。

☆ワーキングメモリー指標 (WMI)：聞いた情報を記憶に一時的にとどめ、その情報を操作する能力（聴覚的ワーキングメモリー）、注意・集中力を測ります。読み、書き、推論の弱さ、注意散漫、聞き間違いによる誤解や思い込み、行動制御や実行機能の弱さなどの評価ができます。

☆処理速度指標 (PSI)：単純な視覚情報を素早く正確に、順序良く処理、あるいは識別する能力を測ります。視覚的短期記憶、筆記機能を測ります。板書の書き取りが遅い、課題を終えるのが遅い、せかされると力を発揮できないなどの評価ができます。

「日本版WISC-IVによる発達障害の
アセスメント日本文化科学社2015」より一部引用

